



学校教育目標 強い心をもった子どもを育てる
～感動とつながりのある活動を通して～

1年間のご協力・ご支援ありがとうございました。

いよいよ3月、27年度の最後の月となります。1年間の学校の様々な活動に、ご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございました。保護者の皆様には、PTA活動、家庭学習・親子で運動、そして、夏の移転作業等、子どもたちの学力・体力向上及び、教育環境の整備・充実にご協力いただきました。

また、地域の皆様には、登下校の安全、本の読み聞かせ・佐波川の体験活動・昔遊び・教科の支援等の学習ボランティア及び施設訪問等、様々な場面でお力添えをいただきました。おかげをもちまして、充実した教育活動が実施でき、子どもたちも大きな成長を遂げることができました。心より感謝いたします。

去年の4月の始業式で、子どもたちに「右手の手のひらに、フーと息を吹きかけてください。次に、左手の手のひらに、ハーと息を吹きかけてください。息の温かさが違いませんか。右手は冷たくて、左手は温かく感じませんでしたか。同じ口から出る息でも、吹きかけ方で、冷たくも温かくもなるんですね。言葉も一緒ですね。皆さんの口から出る言葉が冷たい言葉でなく、温かい言葉であることを期待しています。温かい言葉が周りにたくさんあふれると心が温かくなります。人の心を温かくする人って素晴らしい人だと思います。それがみなさん一人ひとりにできるんですね。右田小学校を温かい言葉でいっぱいにしましょう。」と話をしました。もうすぐ1年が経ちます。実現しつつあるでしょうか。1年間をふり振り返り、自分や周りの人の成長を確かめながら、次の大きな一歩につなげていく3月になることを願っています。

6年生が道徳の時間に左記の詩を資料として学習し、言葉について考えたことの感想を紹介します。

1秒の言葉 小泉 吉宏

「はじめまして」

この1秒ほどの短い言葉に、

一生のときめきを感じることもある。

「ありがとう」

この1秒ほどの短い言葉に、

人のやさしさを知ることがある。

「がんばって」

この1秒ほどの短い言葉で、

勇気がよみがえってくることもある。

「おめでとう」

この1秒ほどの短い言葉で、

幸せにあふれることがある。

「ごめんなさい」

この1秒ほどの短い言葉に、

人の弱さを見ることがある。

「さようなら」

この1秒ほどの短い言葉が、

一生の別れになる時がある。

1秒に喜び、1秒に泣く。

一生懸命、1秒。

たった1秒の言葉でも、人の心を温かくさせたり、人を傷つけたりすることがある。人を傷つける言葉を言わないで、温かくする言葉を言おうと思った。

1秒の言葉で、人生が大きく変わることがあると分かった。幸せになれる言葉もあるけど、その逆もある。言葉は大切に言いたい。これから大切に言葉を一つ一つつけていきたい。

言葉について、真面目に考えたら、難しくかった。1秒の言葉で、傷つくことや、うれしくなる言葉もあるんだなと思った。

今日の学習をして、言葉一つで喜んだり、悲しくなったり、怒ったり、くやしくなったり、と、一言だけでも人の感情を動かしてしまふことが分かった。言葉は、少しこわいと思った。

ある人が喜んだり、ある人が悲しんだり、ある人がいやがったりする言葉がいっぱいある。言葉を一言間違えたら、その一言で、人が傷つくことが分かった。

言葉には、その人の考え方が表れます。そして、言葉は行動とつながり、習慣化する。6年生が、言葉について真剣に考えていることを嬉しく思っています。

1/23(土)人権教育(性教育)参観日

2年生が、性教育の授業で、助産師の高杉敏子先生に生命誕生の素晴らしさ、命の大切さについてお話をしていただきました。

子どもたちは、赤ちゃんが最初は針の穴よりも小さいこと、お父さんとお母さんの命のもとを一つずつもらって誕生すること、そして最初は魚みたいな形だけど、自分自身でどんどん身体を作っていくというお話を、うなずきながら一生懸命に聞いていたそうです。命の不思議さ、命の大切さを実感することができました。その時の感想文を紹介します。

今日のじゅぎょうで赤ちゃんが生まれるまで、お母さんと赤ちゃんがへそをもらっているという話がありました。家に帰ってお母さんがぼくとつながついていたへそのおを見せかけてくれました。思っていたより小さかったのでびっくりしました。(後略)

いのちのたんじょう(前略)赤ちゃんが生まれる時のお話をたくさん聞きました。いのちが作られる話や体の話を聞いてもらいました。お母さんのおなかの中に赤ちゃんがいて、お母さんが「あ、おなかをけってー！」と言っていました。赤ちゃんが出てくるのは自分で体を作りたいからだと考えていました。赤ちゃんのことについて知ることができてよかったです。

○弱い心を破り、いじめられている人の気持ちを考えて、強い心で注意していきたい。
○人を傷つけない、または、人を助けられる強くて、優しい心をもつ。
○強い心をもつ。弱い心だと見えて見ぬふりをしたい。う。だから、強い心で、いじめを止めることができるようになる。
○注意することはできなくても、やさしく声をかけてあげることのできる限りのことをしていききたい。
○弱い心は、どうにもできないから、やさしい心を育てて手助けできる人間になっていきたい。

5年生は、「わたしのいもうと」という資料を読んで、いじめは、大げさな切実な話で、みんな強心で育てるよ。たてもじと対が切実な話で、みんな強心で育てるよ。たてもじと対が切実な話で、みんな強心で育てるよ。たてもじと対が切実な話で、みんな強心で育てるよ。

外国語活動(小中連携)

6月号の学校だよりで、担任とALTのマリア先生とで、外国語活動を実施していることをお伝えしましたが、今年度は右田中学校の佐藤先生にも定期的に教えてもらっています。【What would you like? ゲームをしながら会話を楽しむことができました。】



3学期の「あゆみ」について

1月の参観日のお知らせでもお伝えしましたが、3月の保護者会はありません。あゆみは25日(金)の学活で各担任が子どもたち一人ひとりに励ましの言葉を添えて手渡す予定です。併せて、学級経営の振り返りをあゆみの袋に同封しますので、目を通していただくようお願いいたします。

「親子で運動」のすすめ!

2月18日(木)に、学校保健安全委員会で、桑陽病院の健康運動指導士 重田 和弘先生に、「運動習慣を身につけよう!」というテーマで、指導していただきました。

①の写真は、まず、自分の姿勢をチェックしてみることが大切ということで、体が曲がっていないか確かめているところです。②の写真は、二人組で手軽にできる運動をしているところです。その他の写真は、大人のための運動を参加者でしているところです。少し運動しただけで体が温くなり、笑顔いっぱいになりました。

「気をつけることから運動が始まる。」そして「続けること。」ということをおっしゃっていました。また、3年生から6年生ぐらいで、運動神経伝達経路が完成するそうです。二人組の手軽に出来る運動を、親子で続けながら、運動神経がよくなり、親子の会話や笑顔が増え、体力向上にもつながって素晴らしいですね。「親子で運動」にチャレンジしませんか!

①

②

